

令和元年度企画提案型協働事業 各提案の審査経緯及び委員会意見

No	事業名称	団体名	担当課	事業内容	予算額	アイデア審査 /公開審査会 (8/16)	最終審査 /公開審査会 (10/4)
1	訪問傾聴ワーカー (見守り隊)養成講座、 限定地域派遣事業 【2年目】	こむnetちば	高齢者 福祉課	新規受講生用養成講座を行うとともに、養成講座卒業生を高齢者宅等へ派遣し、高齢者の不安解消や詐欺等の防止を図る。また、フォローアップ研修も開催する。	1,266,400円	—	適 (適8、否2)
2	武西の里山 保全と調査事業 【3年目】	NPO法人 谷田武西の 原っぱと森の会	環境保全課	市が所有し、生物多様性に富んだ貴重な自然環境が残る武西地区の里山を対象に、環境保全のモデル構築を目指し、保全事業、調査・研究事業等を実施する。	458,000円	—	適 (適9、否0)
3	イノシシ等の獣害対策 としての荒れた里山の 整備事業 【3年目】	NPO法人 里地里山 保全ねっと	環境保全課	イノシシが生息しづらい里山環境をつくるため、谷津田周辺の耕作放棄地や荒れた里山の整備保全活動を行う。	660,000円	—	適 (適10、否0)
4	自主防災組織の 活性化事業 【3年目】	印西防災研究会	防災課	団体で作成した防災マニュアル等を活用し、印西市の自主防災組織の構成員に研修会等を実施するほか、未設置地区の自主防災組織設立推進を図る。	298,700円	—	適 (適10、否0)
5	竹袋調整池と周辺地域の 維持管理事業 【指定テーマ型】	NPO法人 エコネットちば	都市整備課	竹袋調整池と周辺地域において、四季の花植え、緑地の維持、植栽の管理、ごみ清掃を年間を通して実施し、豊かな景観維持と快適な環境保全を行う。	3,025,000円	適 (適10、否0)	適 (適10、否0)
6	家庭教育力の向上支援 事業「子育てを学ぼう！ ハートフルキャラバン」 【新規】	NPO法人 ハートフル コミュニケーション 千葉エリア	—	家庭教育力の向上を図るため、子育て世代を対象に、育児不安の解消や親同士の繋がりを作る機会として、講演会や講座を継続的に開催する。	—	適 (適8、否2)	—

企画提案型協働事業
訪問傾聴（見守り隊）養成講座、限定地域派遣事業
令和元年度最終審査 委員会総合意見

- 1 必要性や重要性は非常に高いものと考えます。多機関との良好な連携体制を維持しつつ、地域に密着した活動が広がることを期待します。
- 2 担当課や関係部署との調整を密にさせていただき、派遣事業システムの構築化を図ってください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

事業計画についてのプレゼンがなかったが詳細を詰めてほしい

- ・具体的に事業計画についてのプレゼンテーションがありませんでしたので、判断のしようがなかったですが、市との大枠の調整から具体的に詰めを行ってください。
- ・費用計画の詰めが必要。市ともっと審査会までに詰めてください。今後詳細も詰めてください。
- ・費用計画の詳細をもっと詰めてください。
- ・報酬は人件費ではなく、交通費や出勤手当のような形のほうが良いのではないかと。民生委員等を参考にしてみてもいいか。
- ・派遣事業については、事業としての形をしっかりと整える必要がある。養成として継続することはわかるので、まずこれをしっかりと行いながら、体制検討をするのが良いのではないかと。

講座終了後の地域に密着した活動を期待

- ・養成講座終了後の具体的な派遣の姿が見えてこない。
- ・養成講座終了後の活動につながるように、担当課や関係先と連携を取り、仕組み作りを具体化願いたい。
- ・多機関との連携体制が整ってきているようなので、引き続き良好な関係を構築して行ってください。
- ・地域との関係を着実に積んでおられるようで、地域に密着した活動が広がることを期待したい。

必要性は高い。行政の手が届かないニーズ対応のシステム作りを。

- ・本活動の必要性・重要性については社会的に十分理解されているものと思います。
- ・行政・公的機関では手が届かないニーズに対応する活動だと思うので、その良さをなくさないようなシステムを構築して、がんばってください。
- ・求められている事業だと思いますので、市とよく連携してトラブルのない様、活動していただきたいと思います。

派遣方法などの検討・方向付け

- ・傾聴訪問を行う回数を、想定でよいので明確化されておいたほうがよかったと思います。
- ・派遣に関してはフォローの中で実研修としてはどうか。

本講座で必要なスキルが確保できるのか。

- ・2年目は、養成講座そのもののグレードアップを考えたほうが良いのでは。
- ・印西市全体を包括するために、訪問傾聴ワーカーの必要数は。
- ・養成講座を受講すれば誰でもワーカーとして派遣されるのか。
- ・養成講座で十分なのか。

企画提案型協働事業 武西の里山 保全と調査事業 令和元年度最終審査 委員会総合意見

1 担当課との綿密な関係性、バランスの取れた事業計画、グリーンインフラという着眼点等、とても良い協働事業です。今後も担当課と継続していくことを期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

良い協働事業

- ・行政コスト（費用）が、このレベルで良くやっている。将来の事業の在り方も考えていく必要がある。（ポスト協働事業の在り方。）
- ・市民参加のイベントも増えて、市民への還元もあり、増々広め、活用していただけて、良い事業と思います。
- ・市（担当課）とよくコミュニケーションがとれていると感じました。ぜひ頑張ってください。

ステキな場所にステキな取り組み

- ・都市には必ずこうした里山を残し、保全し、それを活用していく視点が重要であると思います。
- ・印西市の財産として、住民が誇れるような場所となるよう期待しています。
- ・環境整備、生物多様性調査、他への呼びかけ、イベント等、バランスよく計画されています。

グリーンインフラ

- ・市とディスカッションしていただいて、グリーンインフラとして、今後の武西の里山についての方向付けを具体的に進めていただきたいと思います。
- ・グリーンインフラを訴えるのであれば機能と効果の明示をどう考えるか検討してください。（意義は大きいと感じます。）

人材確保

- ・新規で行う公募事業から会員獲得につながることを期待します。
- ・人材確保が難しい昨今ですが、継続できるように。

- ・対高齢化にともなう作業中の事故等についても配慮願いたい。

モニタリング調査、広く公開を

- ・モニタリング調査結果の公表について工夫する必要がある。
- ・モニタリング調査結果を幅広い形で開示できるようにしてください。

企画提案型協働事業
イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業
令和元年度最終審査 委員会総合意見

1 地域の課題に対し、地域で解決できることは行い、できないことを市が補完している。協働事業としてとても素晴らしいです。一層のご活躍を期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

事業がわかりやすくなった

- ・ビジュアル資料がふんだんに使われており、わかりやすくなった。
- ・協働事業の対象範囲と取り組みが明確になってきたと思います。事業計画と実施体制は明確に。

もう少し事業計画を明確に

- ・プレゼンテーションにある散策のための整備、ビオトープ等は予算上明示されていないが、計画として入っているのか。展開の可能性、方法の検討だけでもできるとよい。

地域住民の頑張りがすばらしい

- ・地域の方の力により、地域の環境確保の為、活発に活動しておられることは素晴らしい。担当課との連携も良いことや現役世代の参加等、運営もうまくいっているように見受けられる。
- ・地域の住民が地域の課題とし、団体が活動しているのは非常に重要なことです。一層のご活躍を期待します。
- ・住民の方が、安心安全に暮らせ、散歩も楽しめる環境作り、ご苦労様です。」今後も期待しています。

地域の新しいモデル

- ・里山整備のモデルケースとなり得る。民有地の山掃除については、別に考えていく必要がある。(補助金等)。
- ・いには野地域における行政と市民との協働事業の成功事例として進めていただきたいと思います。

- ・必要な事業であると考え。当該地域だけでなく、他の地域でも取り組みができるように応援すべき。
- ・印西市の他の地域の担い手の発掘とノウハウ移転をぜひ取り組んでください。

動物との共生の視点も

- ・イノシシ等の野生動物との共生案も考えてください。

企画提案型協働事業 自主防災組織の活性化事業 令和元年度最終審査 委員会総合意見

- 1 大変重要な課題であることは認識できました。より具体的な対策の検討と市や関係団体との連携をどのように進めるかを是非詰めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

活動実績の評価

- ・高齢化は共通の課題であるが、具体的活動をしておられることが共助の輪を広げる活動につながっていると拝察する。
- ・これまでの活動の中で課題が明確になっており、関係団体との連携も深まってきていることが感じられる。

事業内容についての提案

【数値的なこと】

- ・実災害において、マニュアルどおりにいかないことが多いが、どの程度対応できるものをひな型として整備しているのか。
- ・連合会は中途半端に作ると形骸化しやすい。連合会の予算（運営費）はどうするのか、上納金などを求めることにつながるのでは。
- ・研修会3回で、どこまでの団体をカバーすることを目指すのか。

【有効策の検討を】

- ・なぜ自主防災組織が増えないのかを分析したうえで、事業計画を立てたらどうか。何が有効なのかを見極める必要もあるのではないのでしょうか。

【担い手】

- ・印西防災研究会10名だけの活動とらないようにしてください。
- ・研究会の参加人数をもっと増やせるような活動をお願いします。

【具体的な対策の検討を】

- ・今回の台風15号のような停電等の被害も含めて対策を考えていただきたい。電話が通じない場合の連絡等が懸念されます。

- ・地域運営組織と呼ばれる地域の新しい経営体の考えが広まっています。そうした新しい地域経営の育て方も学ばれると良いかもしれません。

市との連携の強化が必須

- ・市へ防災体制の不備・要望など、他市を参考にどんどん提案していただきたいです。
- ・市（行政）との連携の中での自主防災組織の活性化だと考えます。市と防災研究会との連携をどのように進めるかを是非詰めてください。
- ・自主防災会はどこも活動的ではないということではない。電柱の場所や本数などを確認できる地域もある。
- ・市は要支援者への支援が優先されるその時に住民による自主防災組織は重要となる。もう少し市が協働に前向きに取り組んでもいいのではないか。市が線引きしすぎているように聞こえる。
- ・印西市が本事業によって目指すレベル、2年間での達成度、3年目への期待を明確にしてほしい。

企画提案型協働事業 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業 令和元年度最終審査 委員会総合意見

- 1 大変素晴らしい事業であると評価します。より多くの市民が参加できるような事業になるよう期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

活動を評価します

- ・総合的に見て良くやっている。
- ・これまでの実績も十分で今後も期待できる。将来は都市公園化すべき。
- ・次年度もしっかりと頑張ってください。

市民の参加プランを

- ・この協働事業に対して市民参加の機会が少ないと感じる。市民活動団体が実施する事業としてのアイデアがほしい。
- ・エコネットちばさんのために後継者を育成する具体的なプランを検討していただきたい。
- ・すっかり活動が定着し、環境整備がされている。単に下請作業だけでなく市民の集う調整池周辺作りという切り口で活動提案されており協働事業として良く運営している。
- ・花苗えをイベントにして、一般の方を巻き込んで、親しみやすさを更に出してはどうでしょうか。

今後の役割を具体化してください（調整池をどうするのか）。

- ・将来的な事業計画費を検討してください。
- ・市と団体との役割分担を明確化し、合意してください。
- ・市の計画として、具体化されることを希望します。